平成20年(2008年)の硫黄鳥島の火山活動

気象庁地震火山部 火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

2008年の活動概況

1月、5月、7月及び10月に行った海上からの観測及び11月に第十一管区海上保安本部が行った上空からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口からの少量の噴気が確認されたほか、島の中央部に位置するグスク火山火口からもごく少量の噴気が時々確認されました。各火口の噴気の状況は、2007年に行った観測と比べて、特段の変化は認められませんでした。



図1 硫黄鳥島 火口の位置

この資料は気象庁のほか、第十管区海上保安本部のデータを利用して作成しています。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の 1 地形図』の複製したものを使用しています(承認番号:平20業複、第647号)。

- 1 -

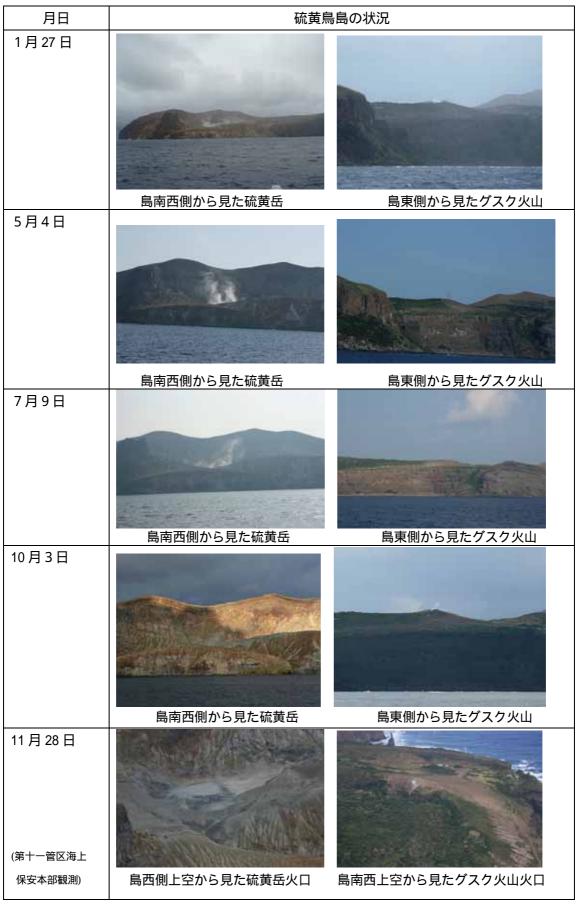


図2 硫黄鳥島 火口等の状況